

教科(科目)	生物基礎	単位数	2単位	学年(コース)	1年次
使用教科書	高等学校 新生物基礎 (第一学習社)				
副教材等	新課程版 ネオパルノート生物基礎 (第一学習社)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ②防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS」(ホップ・ステップ・ジャンプ)プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3 指導の重点

- ①生物と遺伝子について、細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解し、生物についての共通性と多様性の視点を身に付けます。
- ②生物の体内環境の維持について、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識します。
- ③生物の多様性と生態系について、生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験での表現 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験結果の考察・分析 ・資料やグラフ読み取りの内容確認 ・レポートやワークシート、提出物等の内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表への取り組みの観察 ・ワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法	
					観点	方法
4	第1章 生物の特徴	生物の共通性	・進化による生物の多様化、生物共通の単位である細胞の構造と機能を理解する。 ・顕微鏡による細胞の観察	7	a, b, c	授業態度 発問評価 提出物
5		生物とエネルギー	・代謝とエネルギーの移動、ATP の理解 ・酵素の特徴、光合成や呼吸の過程を理解する。 ・カタラーゼを用いた酵素触媒作用実験	7	a, b, c	実験レポート
	定期考査				a, b	
6	第2章 遺伝子とのはたらき	遺伝情報とDNA	・遺伝子とDNAと染色体の関係について学びDNAの構造、複製を理解する。 ・身近な材料によるDNA抽出・細胞分裂の観察	8	a, b, c	授業態度 発問評価 提出物
7		遺伝情報とタンパク質の合成	・遺伝情報のDNA→RNA→タンパク質という流れと発現のしくみを考察・理解する。	8	a, b, c	実験レポート
	定期考査				a, b	
8 ・ 9	第3章 ヒトの体の調節	からだの調節と情報の伝達	・体液の恒常性、神経系、自律神経系とホルモンによる調節を理解し、健康維持と結びつける。 ・運動による心拍数の変化の実験	10	a, b, c	授業態度 発問評価 提出物 実験レポート
	定期考査				a, b	
10		免疫	・生体防御について学び、自然免疫や獲得免疫による病原体排除の流れを理解する。 ・免疫による疾患や予防法・治療法を理解する。	10	a, b, c	授業態度 発問評価 提出物
11	第4章 生物の多様性と生態系	植生と遷移	・バイオームの概念を理解し、その分布を決める環境要因を考える。また、特徴的な植物種を理解する。	5	a, b, c	実験レポート
	定期考査				a, b	
12	生物の多様性と生態系	植生と遷移	・バイオームの概念を理解し、その分布を決める環境要因を考える。また、特徴的な植物種を理解する。	5	a, b, c	授業態度 発問評価 提出物
1 ～ 3		生態系とその保全	・生態系の構成やバランス、人間生活が生態系に様々な影響を与えていることを理解する。 ・生態系保全の意義重要性について理解する	10	a, b, c	実験レポート
	定期考査				a, b	

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業中に小単元毎に、授業プリントを提出します。 ・実験を行ったときは、実験レポート等を提出します。

8 担当者からの一言

中学校理科の生物分野を復習しながら、新しい生物の内容を学んでいきます。主に細胞や体のしくみ、遺伝子の本体であるDNA、生物の多様生や生態系などを学習します。上記の計画は、事情により変更することがあります。
(担当：祝部 克之)